

週報 みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

第 2 回三重県魚類養殖勉強会開催 —2/26 (水) 大紀町錦—



2 月 26 日、大紀町錦地区のみなとホールで三重県内の魚類養殖業者 14 名を含む三重県及び関係団体役職員や飼料メーカー社員など合わせて 49 名が出席し、第 2 回三重県魚類養殖勉強会が開催された。当日は、養魚用飼料や漁業収入安定対策事業 (積立ぷらす)、漁業経営セーフティネット事業についての説明があり、その後、熱心な意見交換も行われた。

同事業については、今月 24 日が申込締切日となっている為、加入申込書を作成の上、最寄りの所属する漁協へ早急にお申込み下さるよう、お願いします。

白塚漁師塾

—2/21 (金) 松阪 のり流通センター—



2 月 21 日、黒のり 第 6 回共販時に松阪の「三重漁連のり流通センター」に於いて、白塚漁師塾 (水産流通編) が行われた。当日、塾生は、同行した三重県漁連 指導部職員から、共販の様子と共販後の出荷作業を見学しながら説明を受け、黒のりの流通について勉強した。

第 1 回「早田寒ぶりまつり」大盛況！ —3/1 (土) 尾鷲 早田地区再生協議会—



3 月 1 日、ブリの定置網が盛んな尾鷲市早田町早田コミュニティーセンター周辺で、地元特産のブリを地域内外に P R して、地域の活性化につなげようと尾鷲漁協早田支所と地元住民の有志らで構成された「早田地区再生協議会」が

中心となって、初めての「寒ブリまつり」が行われた。

当日は、定置で水揚げされた 8 kg 前後の天然の寒ブリを使った刺し身や蒸ししゃぶ、大敷汁など、200 食ずつを準備した無料の試食コーナーには長蛇の列ができ、わずか 30 分ほどで試食券がなくなりました。また、有料の寒ブリのべっ甲寿司、ブリ弁当各 100 食分もまたたく間に完売。

このほか、海藻ヒロメの試食・販売や漁協職員が 1m 以上のブリを三枚におろす解体ショー、そして都会から早田に移り住んだ「若手漁師がブリ漁を語る！」コーナーもあり、人口 150 人の早田地区に地区外から 500 人が来場して大盛況のうちに閉幕となった。

小女子（こうなご）漁、解禁！
—3/2（日）伊勢湾—



3 月 2 日、伊勢湾に春の訪れを告げる

小女子漁が、一斉解禁された。

資源管理の先駆的事例として知られる伊勢湾の小女子漁は、昭和 50 年代の過剰漁獲を教訓に、水揚金額と次年度以降の再生産確保の最適化を図るため実践されており、先月 25 日の試験びきでは、平均体長 33.8 mm と、解禁の目安である 35 mm に迫っていた。

解禁初日の水揚げは、白子・白塚の両市場合わせて 1,503 桶（45 t）で昨年（1,006 桶）を上回ったものの、平均単価は 16.6 千円/桶で、昨年（16.9 千円/桶）を若干下回った。

また、市場に隣接する鈴鹿市漁協直売所「魚魚鈴（ととりん）」では、恒例となった生の小女子販売が行われ、この季節だけしか味わえない美味を求め常連客が長蛇の列をなした。



【主な予定】

◎3/7

黒のり 7 回汐（松阪）

◎3/8～9

ふるさとの食につぼんの食全国フェスティバル（NHK 渋谷）

◎3/8～4/27

相可高校・高校生レストラン「まごの店」伊勢まだい PR フェア（多気町）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。